

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	488 筑波山麓整備事業					
予算科目	01-070103-11 観光施設整備に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光施設係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	筑波山周辺観光整備基本構想、第3次つくば市観光基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	15陸の豊かさを守ろう	

事業の概要

対象	市民、観光客					
目的	山麓地域の活性化を図るとともに、宝篋山周辺観光施設の整備を進める。					
概要 (取組内容)	利用者の利便性向上を図るため、筑波山山麓及び宝篋山小田休憩所等の改修工事及び案内看板等の整備を進めていく。					

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	148	5,775	6,666	0	0	
	決算額	(千円)	100	44	6,316	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	100	44	6,316	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,700	1,709	1,703	1,703	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.25	0.25	0.25	0.25	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページでの情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	つくば市観光入込客数 (万人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	424.0	427.0	430.0	444.0	458.0	472.0
	実績	425.0	272.0	243.3	274.7	0.0	0.0
	指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき、観光入込客をカウント 1月から12月までの年集計					

2	指標名	宝篋山観光入込客数 (万人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	9.5	12.0	12.1	9.5	0.0	0.0
	指標の概要	期間は1月から12月まで					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	登山者が増加する5月及び10月から年末年始までの行楽シーズン中、既存の市有地を臨時駐車場として活用し、駐車場不足を解消した。
成果	宝篋山小田休憩所トイレ改修を実施し、宝篋山登山者の利便性向上を行った。また、宝篋山登山道上に注意喚起看板を設置し、適正な登山道への誘導を行った。 その他、繁忙期に臨時駐車場を設けたことで路上駐車抑制となった。
課題	業務 臨時駐車場の誘導表示が少なく、駐車待ちが一時的に発生する状況があったため、対策を実施する必要がある。 組織、予算等
改善目標	臨時駐車場への誘導方法の見直しを行い、目立つ案内板の設置や誘導員の配置を行い、来場者の利便性向上を図る。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	宝篋山登山客が増加し、小田休憩所にある駐車場だけでは補えない期間も出ていることから、市内観光の充実や筑波山観光客の分散強化のため、臨時駐車場の確保や新しい駐車場の候補地は引き続き検討する必要がある。

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	489 観光施設維持管理事業					
予算科目	01-070103-12 観光施設維持管理に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光施設係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	第3次つくば市観光基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	15陸の豊かさを守ろう	

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	市内観光施設の快適性と利便性の向上を図る。
概要 (取組内容)	快適で魅力ある観光地として、観光施設を適正に管理する。 筑波山頂施設維持管理、市営駐車場維持管理 観光案内施設維持管理、梅林維持管理 宝篋山休憩施設維持管理、荃崎地区観光施設維持管理

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	101,718	96,717	109,516	116,591	0	
	決算額	(千円)	96,116	91,695	108,382	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	44,801	53,568	66,317	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	14,900	0	0	0	0
		その他	(千円)	36,415	38,127	42,065	0	0
人件費	人件費計	(千円)	11,252	7,875	7,857	7,857	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.50	1.00	1.00	1.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	428.00	428.00	428.00	428.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページでの情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

指標名	つくば市観光入込客数 (万人)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	424.0	427.0	430.0	444.0	458.0	472.0
実績	425.0	272.0	243.3	274.7	0.0	0.0
指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき、観光入込客をカウント 1月から12月までの年集計					

2	指標名	市営筑波山駐車場利用台数（普通車）（台）					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	86,600.0	88,660.0	88,660.0	88,660.0	88,660.0	88,660.0
	実績	76,166.0	68,491.0	70,627.0	77,441.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	市営筑波山駐車場利用台数（大型車）（台）					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,100.0	1,100.0	1,100.0	1,100.0	1,100.0	1,100.0
	実績	938.0	622.0	847.0	893.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名						
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名						
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	修繕計画のうち優先順位の高い、市営第3駐車場の照明器具改良工事を実施し、市営第2駐車場の区画線修繕については筑波山展望デッキ工事と合わせて実施するよう設計した。市営第1駐車場から筑波山梅林までのアクセス路の改修設計を実施し、第1駐車場や梅林内で老朽化した柵や駐車枠の修繕を実施した。	
成果	現状に合わせ修繕計画を見直し、各施設の修繕を適宜行うことで、観光客の利便性向上を図った。	
課題	業務	劣化が進む施設の修繕が適宜必要となる。
	組織、予算等	土木工事や施設の簡易修繕など、担当課で迅速に対応する工事等が多く、専門的な知識及び経験のある職員の配置が必要である。
改善目標	施設の修繕等を行い、適正な施設の維持保全を行う。また、各施設の見回りの強化により、適正な維持管理を行うことで利用者の満足度向上を図る。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	利用者の満足度向上のため施設を適正に管理運営していく必要がある。

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	494 くさざき夢まつり事業					
予算科目	01-070103-13 観光行事に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光イベント推進係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	補助金（直接）	
個別計画	第3次つくば市観光基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	15陸の豊かさを守ろう	

事業の概要

対象	市民
目的	茎崎地域の活性化及び世代間交流の促進を図る。
概要 (取組内容)	地域のふれあいの場としてS49年から商工産業祭、H12年度からひまわりまつりとして開催され、地域のお祭りとして定着している。 現在は、地域活性化を促進するため、茎崎地区の区会長や、PTAの関係団体等により実行委員会が組織されており、より地域に根ざした市民参加型のイベントとなっていることから、当該事業に対し、開催のための補助金を交付するとともに、助言等を行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	600	600	600	600	600	
	決算額	(千円)	17	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	17	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	685	699	1,387	1,504	1,504	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	2.00	6.00	10.00	58.00	58.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	くさざき夢まつりへの来場者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	7,000.0	7,000.0	7,000.0	7,000.0	7,000.0	7,000.0
	実績	8,000.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	主催者発表（令和2年度から令和4年度は新型コロナウイルスの影響で中止のため実績なし）						

2	指標名	()					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	事務局体制の強化に向けて支援を行った。	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で事業は実施しなかった。 ・中止判断や周知方法について助言した。 	
課題	業務	引き続き事務局体制の強化に向けた支援が必要である。
	組織、予算等	
改善目標	引き続き事務局体制の強化に向けた支援を行っていく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	495 つくば観光コンベンション協会補助事業					
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光振興係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	補助金（直接）	
個別計画	第3次つくば市観光基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs		

事業の概要

対象	観光客
目的	行政を超えた領域の観光事業の充実を図る。
概要 (取組内容)	つくば観光コンベンション協会の事業を支援するとともに、当該協会が行う市内の観光産業の振興に資する取り組みを促進し、もって地域経済の活性化を図る。 誘客のための観光キャンペーンやイベント実施の際に連携を図る。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	45,621	45,621	45,621	45,621	45,621	
	決算額	(千円)	45,621	45,621	45,621	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	45,621	45,621	45,621	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,360	1,367	1,362	1,362	1,362	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	つくば市観光入込客数 (万人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	424.0	427.0	430.0	444.0	458.0	472.0
	実績	425.0	272.0	243.3	274.7	0.0	0.0
	指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき、観光入込客をカウント 1月から12月までの年集計					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	コロナ収束後を見据えた観光誘客事業として、筑波山での周遊観光を促進するスタンプラリーや捺し巡り御朱印などを実施した。また、3年ぶりに「筑波山梅まつり」を本格開催し、地酒イベントや初のワインイベントを開催するなど、感染症対策に留意しつつ大型イベントを再始動することができた。	
成果	財政の支援を行い、協会経営の安定化と観光誘客の推進を図ることができた。つくば市観光推進課とつくば観光コンベンション協会それぞれ業務の整理を行い、両者の役割分担の方向性を共有することができた。つくば観光コンベンション協会と連携し、イベントの運営、広報を行うなど、官民一丸となった誘客事業を推進することができた。	
課題	業務	コロナ収束後の本格的な観光再始動を盛り上げる事業展開が必要となる。茨城デスティネーションキャンペーンをいかして一体的な観光PRを行う必要がある。
	組織、予算等	つくば観光コンベンション協会との業務整理の結果に基づき、一部を移管する等の適性化を図る必要がある。
改善目標	地域経済の活性化を図るため、筑波山観光をきっかけとした市内全域の観光誘客を促進する事業等の検討を行う。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	496 観光振興事業					
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約	127-1			係名	観光振興係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	第3次つくば市観光基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs		

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	つくば市の観光産業の振興を促進するとともに、地域経済の活性化を図る。
概要 (取組内容)	市内の観光情報の発信（つくば市の魅力ある観光スポット等を紹介することにより、市内外から多くの方に来訪いただき、ひいてはリピーターの増加を目指す。） 観光情報の広告掲出やメディアへの情報発信等を積極的に実施する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	17,482	19,219	6,648	6,695	6,700	
	決算額	(千円)	12,334	11,959	6,230	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	12,334	11,959	6,230	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	8,718	8,176	4,209	7,544	7,544	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.10	1.00	0.60	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	504.00	552.00	50.00	300.00	300.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	HPやSNS等での観光情報発信
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	つくば市観光入込客数 (万人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	424.0	427.0	430.0	444.0	458.0	472.0
	実績	425.0	272.0	243.3	274.7	0.0	0.0
	指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき、観光入込客をカウント 1月から12月までの年集計					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	訪日外国人観光客向け観光情報発信強化のため、訪日外国人向けウェブサイト「MACHA」に記事を2本追加した。また、国内向け観光情報発信強化のため、公式InstagramやTwitterでの情報発信について内部ルールを作成し、業務を属人化せず分散させることで投稿回数を増やすことができた。	
成果	国内外のインフルエンサーを活用したSNS投稿や撮影した動画を市HPに掲載するなど、観光情報の発信強化を行うことができた。 地元民間事業者等と連携し、観光庁のインバウンド向け誘客施策の補助事業に応募することができた。	
課題	業務	発信する情報ごとにターゲットを明確にし、ターゲットに合った手法での情報発信を強化していく必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	今年度集めた魅力ある素材を活用して、リニューアルした市HP内観光特設サイトの視認性を高める編集作業を行っていく。 メディアへの素材提供を簡便化するために、写真のオープンデータ化を進める。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	497 つくば市学術会議支援事業					
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光振興係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	補助金（直接）	
個別計画	第3次つくば市観光基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs		

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	つくば市内における学術会議の開催促進を図る。
概要 (取組内容)	学術会議主催者に対する支援策の一環として補助金交付及び開催準備金の貸付を実施し、それに伴う窓口業務及び広報活動をつくば観光コンベンション協会へ補助金を交付する。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	22,437	24,445	15,602	23,253	21,000	
	決算額	(千円)	770	2,163	15,602	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	770	2,163	15,602	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,360	684	1,362	1,362	1,362	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.10	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	学術会議等の開催、参加
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

指標名	国際会議開催数 (回)					成果指標	
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
1	目標値	50.0	53.0	56.0	59.0	63.0	65.0
	実績	63.0	1.0	0.0	17.0	0.0	0.0
指標の概要	市内で開催された学術会議（MICE）の回数※目標値は、H27年度「まち・ひと・しごと創生事業」評価指数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	茨城県、つくば観光コンベンション協会と連携し、海外に向けたオンライン商談会等への出展、学会主催者へのコロナ収束後を見込んだ営業活動を進めた。	
成果	市の事業者への経済効果を検討するため、他自治体や団体の補助事業の情報収集を行い、今後の方向性を決めることができた。 また、次年度の要項を時世に合ったものにするため、要項の一部を改定する調整を行った。	
課題	業務	経済効果がより分かりやすい補助制度へ改定していく必要がある。
	組織、予算等	補助の上限がなく、財源の確保が不安定な体制を見直す必要がある。
改善目標	補助制度について、経済波及効果をより明確にできる内容への改定を検討する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	2	計画から遅れている。(未達成)
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	498 筑波山交通渋滞対策事業					
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光振興係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	第3次つくば市観光基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs		

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	春と秋の行楽シーズンを中心に多くの観光客が筑波山を訪れることによる渋滞等の緩和を図る。
概要 (取組内容)	ゴールデンウィーク及び秋の行楽シーズンに関係機関と連携し、筑波山の交通渋滞対策として、渋滞情報や駐車場の情報を発信、風返し峠などの混雑する箇所への警備員の配置、看板設置によるパープルライン方面への迂回誘導を実施する。 登山道の混雑緩和対策として、女体山頂付近に誘導員を配置し、列整理及び案内アナウンスを行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	3,274	3,092	3,194	4,731	4,750	
	決算額	(千円)	1,182	3,312	2,430	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,182	3,312	2,430	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,916	4,118	4,110	4,139	4,139	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	210.00	288.00	288.00	300.00	300.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	HP等で渋滞情報の発信、迂回路看板の提示
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	渋滞対策実施日数 (日)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0
	実績	20.0	12.0	16.0	17.0	0.0	0.0
指標の概要	春と秋に実施した渋滞対策の対応日数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	令和3年度秋の筑波山渋滞対策において、つつじヶ丘駐車場と風返し峠での連携不足から交通渋滞が発生したことから、茨城県や関係機関と連携し令和4年度春の対策においては、連絡調整を密に実施することで、風返し峠周辺の混雑の緩和を図った。	
成果	<ul style="list-style-type: none"> 春はつつじヶ丘と臨時駐車場を往復するパークアンドバスライドを実施し混雑緩和を図れた。秋は、新たなルートでのパークアンドバスライドの実施を調整したが天候不良により実施には至らなかった。 女体山山頂付近に警備員を配置し、女体山山頂へ向かう人の列整理を行うことで、登山道まで溢れていた人の列が無くなり、混雑しながらもスムーズに誘導することができた。 	
課題	業務	渋滞対策を実施する上で、地域の声や地元事業者、来訪者の声を必要があるため、アンケート等の実施を検討する。
	組織、予算等	特になし
改善目標	交通渋滞に関して、地域住民及び事業者の声を聞き、茨城県や関係機関と引き続き連携し渋滞対策を検討する。また、看板設置やSNSによる迂回路紹介動画の拡散などの事前周知の強化など効果的な取組を研究し、最適な渋滞対策や登山道の混雑緩和対策を検討する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	499 おもてなし観光推進事業					
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光振興係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	全て委託	
個別計画	第3次つくば市観光基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs		

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	観光客の満足度の向上を図る。
概要 (取組内容)	おもてなしの強化と観光客の満足向上を図るため、（一社）つくば観光コンベンション協会と連携し、観光案内所における案内業務や観光ボランティアガイドの育成等を行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	10,346	8,636	8,490	8,788	8,800	
	決算額	(千円)	9,868	8,370	8,455	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	9,868	8,370	8,455	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,400	1,375	689	681	681	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.20	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	3.00	3.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	筑波山観光入込客数 (万人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	200.0	200.0	200.0	220.0	240.0	260.0
	実績	250.0	228.0	186.0	184.0	0.0	0.0
指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき、筑波山観光入込客をカウント 1月～12月までの年集計						

2	指標名	ボランティアガイド登録人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
	実績	50.0	52.0	43.0	43.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	観光ボランティアガイドは、コロナ禍でもZOOMを活用したリモートガイドを行った。また、筑波山のガイドだけでなくサイエンスツアーのガイドについても研修を行い、スキルアップを図った。	
成果	リモートガイドの実施や、現地での観光ガイドも一部実施することができた。 「観光協力の家」への登録者を4件追加し、筑波山観光のおもてなし体制を強化することができた。	
課題	業務	つくば観光コンベンション協会と連携し、おもてなし研修や意見交換会等を実施するなど、地域一体となった「おもてなし」意識の向上を図る必要がある。
	組織、予算等	つくば観光コンベンション協会との連携を強化する必要がある。 観光事業者等に対する研修について外部講師の導入などを検討する必要がある。
改善目標	観光事業者、観光客、双方の意見を幅広く収集し、おもてなし向上に向けた方向性を検討する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	506 観光客動態調査事業					
予算科目	01-070103-15 観光客動態調査に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光振興係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	第3次つくば市観光基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs		

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	観光施策の適正な実施及び推進に必要な基礎資料を得る。
概要 (取組内容)	つくば市内の代表的な見学可能な研究施設等及び筑波山・宝篋山への入込数を調査し、県に報告する。 (委託) 筑波山は交通量調査から入込客数を測定し、その他については各施設から報告を受け、県に報告する。 なお、通年調査の他、集客数の大きいイベントの来場者数も報告を行っている。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	402	328	328	340	340	
	決算額	(千円)	271	292	187	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	212	172	67	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	59	120	120	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	680	684	1,362	1,362	1,362	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	筑波山・宝篋山の観光客入込数調査
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	観光客（筑波山・宝篋山観光客）入込数調査日数 (日)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	実績	11.0	12.0	10.0	10.0	0.0	0.0
	指標の概要	筑波山の交通量調査と宝篋山での駐車台数及び通行人数調査日数					

2	指標名	つくば市観光入込客数 (万人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	424.0	427.0	430.0	444.0	458.0	472.0
	実績	425.0	272.0	243.3	274.7	0.0	0.0
	指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく観光入込客をカウントした値 1月から12月までの年集計					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	当課所管の施設（豊里ゆかりの森）について、調査対象となるための基準値（年間来訪者数10,000人）を満たしたため、調査地点の追加をした。	
成果	つくば市内の代表的な研究施設（見学受入施設）等からの情報収集及び筑波山・宝篋山での調査を行ったことで、つくば市の入込客数を把握することができた。※筑波山・宝篋山は交通量調査から入込客数を測定し、その他については各施設から報告を受けた数値を県に報告した。	
課題	業務	本事業で集計したデータは茨城県への報告用であり、年代等を含む詳細なデータではないため当該データのみを用いた分析を行っても、観光施策につながる分析結果を得ることは期待できない。
	組織、予算等	特になし
改善目標	本事業で集計したデータ以外のデータにも視野を広げ、分析方法や利活用方法について検討をする。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	491 まつりつくば事業					
予算科目	01-070103-13 観光行事に要する経費				担当部課	経済部観光推進課
市長公約					係名	観光イベント推進係
戦略プラン	I-2	2	1	観光イベントの開催	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	補助金（直接）
個別計画	第3次つくば市観光基本計画				事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	15陸の豊かさを守ろう

事業の概要

対象	市民
目的	市民が参加できるイベントを開催することにより、地域交流及び世代間交流の促進を図るとともに、つくば市の魅力を広く発信することで、地域経済の活性化を図る。
概要 (取組内容)	実施イベントについては、魅力的なアイデアを持った市民の参加を促すため、公募により決定する。 なお、新型コロナウイルス感染症に鑑み、近隣住民や来場者、参加者に配慮した安全安心のイベント開催に努める。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	30,800	30,800	30,800	30,800	30,800	
	決算額	(千円)	1,868	10,102	12,194	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,868	10,102	12,194	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	12,307	10,823	13,987	15,039	15,039	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.80	1.50	2.00	2.00	2.00
		正職員時間外勤務	(時間)	27.00	235.00	150.00	580.00	580.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページやSNSによる情報発信、チラシの配布
企画・立案、計画	イベントの参加団体を募集
実行	
評価、検証	

指標の推移

指標名	来場者数 (人)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	470,000.0	470,000.0	470,000.0	470,000.0	470,000.0	470,000.0
実績	470,000.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	主催者発表（令和2年度および4年度は中止、3年度はオンライン等での開催のため来場者数の発表はなし）					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新型コロナウイルス感染症に鑑み、近隣住民や来場者、参加者に配慮した安全安心のイベント開催とするために、会場を研究学園駅前公園および周辺道路に移しての開催を目指したが、8月上旬の感染急拡大による医療機関のひっ迫状況を受けて開催中止となった。	
成果	現地開催に向け準備を進めてきたが、新型コロナウイルスの感染急拡大を受けて開催中止となった。令和5年度の開催に向け、従来のパレード会場の懸案事項であった、マンション出入口の交通規制問題について、住民理事会において、理解が得られた。	
課題	業務	新型コロナウイルスの感染状況を注視しながらも、4年ぶりの会場での開催に向けて関係機関等との調整を行っていく。
	組織、予算等	新型コロナウイルスの影響により、3年間会場でイベントを開催できていないことから、知識や経験の継承が課題となっている。また、委託料等の高騰や警備員の人件費高騰などにより支出の増大が見込まれることから、支出の見直しを図るとともに、新たな財源の確保についても検討していく必要がある。
改善目標	関係者と十分に協議し、市民をはじめ、近隣住民や来場者、参加者に理解を得られるイベントを、従来の開催地であるつくばセンター地区で開催する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	493 つくばフェスティバル事業					
予算科目	01-070103-13 観光行事に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光イベント推進係	
戦略プラン	I-2	2	1	観光イベントの開催	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	補助金（直接）
個別計画	第3次つくば市観光基本計画				事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	15陸の豊かさを守ろう

事業の概要

対象	市民
目的	つくば市の多種多様な魅力を市内外へ発信し、新生活がスタートした新緑の季節を彩る晴れやかなイベントとして、多くの来訪者に愛されるイベントを開催する。
概要 (取組内容)	市内の対象店舗を巡っていただくスタンプラリーを開催する。スタンプラリーのマイページでは、国際と科学、ジオパークをテーマにしたクイズコーナーを設ける。スタンプラリーの賞品を市内物産品とすることで、併せて物産品のPRをすることができる。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	
	決算額	(千円)	0	1,431	4,128	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	1,431	4,128	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,543	6,322	5,485	6,016	6,016	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.90	0.80	0.80	0.80
		正職員時間外勤務	(時間)	58.00	70.00	15.00	232.00	232.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページやSNSによる情報発信、チラシの配布
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	つくばフェスティバルへの来場者数 (人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	140,000.0	150,000.0	150,000.0	150,000.0	150,000.0	150,000.0
	実績	150,000.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	主催者発表（令和2年度は中止、令和3年度及び令和4年度は代替イベント開催のため実績なし）					

2	指標名	ホームページ閲覧数 (回)					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	7,500.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	7,833.0	8,758.0	0.0	0.0
	指標の概要	代替イベントの開催により令和3年度及び令和4年度のみ指標として設定 令和4年度のスマホスタンプラリーはホームページを経由しなくても参加できるため、閲覧数が減少した。					
3	指標名	スタンプラリー応募者数 (人)					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	76.0	362.0	0.0	0.0
	指標の概要	代替イベントの開催により令和3年度及び令和4年度のみ指標として設定					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新型コロナウイルスの感染状況に応じたイベントへのあり方が課題であったことから、スマートフォンを活用した新しい形でのイベントを開催した。また、スマホスタンプラリーシステム構築委託料等を抑制することで予算を縮小して開催することができた。	
成果	新型コロナウイルスの影響により自粛ムードが続いてきた中で、スマホスタンプラリー企画を実施することで、多くのお客様に市内の様々な素敵な場所を知っていただくきっかけを作り、新たな出会いや発見を提供することができた。さらに、市内全域の周遊を促し経済活動を活性化させるとともに、賞品を市内の物産品にすることで、今まであまり知られていなかった物産品のPRを行うことができた。	
課題	業務	4年ぶりの会場開催を見据えて、新たなテーマやコンセプトを取り入れ、既存のイベントのみならず、新たな企画を積極的に取り入れたイベントの開催について検討する必要がある。
	組織、予算等	新型コロナウイルスの影響により、3年間会場でイベントを開催できていないことから、知識や経験の継承が課題となっている。また、委託料等の経費高騰や、警備員の人件費高騰などにより支出の増大が見込まれることから、支出の見直しを図るとともに、新たな財源の確保についても検討していく必要がある。
改善目標	関係者・関係機関と十分に協議し、4年ぶりの会場でのイベントを開催する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	487 筑波山観光施設整備事業（旧：筑波山梅林及びその周辺整備事業）					
予算科目	01-070103-11 観光施設整備に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約	128	130		係名	観光施設係	
戦略プラン	I-2	2	2	体験型観光の推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	補助金（間接）
個別計画	筑波山梅林及び周辺整備計画 等			事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	15陸の豊かさを守ろう	

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	筑波山の観光資源を最大限に有効活用し、年間を通じて誘客を行うことで、周辺観光産業の活性化を図るための施設の整備を行う。
概要 (取組内容)	筑波山周辺地域の周遊促進及び訪日外国人等の満足度向上を図るため、一部に補助金を活用し、関連施設の整備を行う。 令和4年度の主なものとして、筑波ふれあいの里キャンプ場の改修設計などを行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	62,549	247,564	26,309	177,706	141,900	
	決算額	(千円)	13,516	219,901	24,827	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	10,916	52,766	20,956	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	2,600	167,135	3,871	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,306	7,335	7,314	7,314	7,314	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	206.00	206.00	206.00	206.00	206.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ及び広報誌での情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	筑波山観光入込客数 (万人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0
	実績	250.0	228.0	186.8	184.0	0.0	0.0
	指標の概要	観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき、筑波山観光入込客をカウント 1月～12月までの年集計					

2	指標名	市営筑波山駐車場利用台数（普通車）（台）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	86,600.0	86,600.0	86,600.0	86,600.0	86,600.0	86,600.0
	実績	76,166.0	68,491.0	70,627.0	77,442.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	市営筑波山駐車場利用台数（大型車）（台）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,100.0	1,100.0	1,100.0	1,100.0	1,100.0	1,100.0
	実績	1,017.0	622.0	847.0	893.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名						
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名						
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	登山者等の混雑緩和のため、女体山頂直下の広場にウェブカメラと駐車場満空表示板を整備した。	
成果	筑波山観光客に対し、混雑状況など新たな情報取得手段が提供できたことで筑波山の魅力度向上が図れた。	
課題	業務	筑波山山頂の魅力に加え、既存施設の魅力向上を図る整備が必要である。
	組織、予算等	工事を担当課で行うためには、専門技術や知識を持った人の配置が必要である。
改善目標	利用者のニーズを考慮し、観光施設の改修を実施することで筑波山観光の魅力度向上につなげる。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	新型コロナウイルス感染症により減少した観光客を呼び戻すため、筑波山観光における利用者の利便性向上や魅力度向上を図るための整備を行っていく必要がある。

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	492 森林体験パーク施設管理事業					
予算科目	01-070103-12 観光施設維持管理に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約				係名	観光施設係	
戦略プラン	I-2	2	2	体験型観光の推進	新規・継続	新規
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	15陸の豊かさを守ろう	

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	市有地の保全を図りながら、新たな観光の活性化に繋げる。
概要 (取組内容)	筑波山の自然をテーマに森林を活用した自然共生型アウトドアパークとして、魅力ある通年型観光施設を提供する。 また、快適で安全な施設利用を提供するため、装具の更新やコース内の安全管理、樹木医による立木の調査により適正な維持管理を行う。 ※PR：ホームページやチラシの配布での情報発信、つくば市民の日キャンペーンや梅まつりでのイベント共催

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	3,667	5,422	5,283	4,866	7,000	
	決算額	(千円)	1,442	1,934	3,124	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	-5,728	-7,792	-6,782	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	7,170	9,726	9,906	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,700	3,417	3,405	1,703	3,405	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.25	0.50	0.50	0.25	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページや広報誌、チラシ配布での情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	施設利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	15,000.0	15,000.0	15,000.0	15,000.0	15,000.0
	実績	0.0	10,337.0	13,999.0	14,359.0	0.0	0.0
	指標の概要	※令和2年度より報告開始					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベント等での誘客が図れなかったものの、老朽化し破損したコースの改修を実施し、新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、施設自体の魅力向上を図った。	
成果	施設修繕により利用者の安全性を確保した。	
課題	業務	森林体験パーク内のコースに活用している限られた樹木を維持していくため、樹木調査を行い、施設の長寿命化を図る必要がある。
	組織、予算等	
改善目標	新型コロナウイルス感染症の収束を見据えた、SNSの発信やイベント時でのチラシ配布等、PR強化を図り、新規利用者の獲得を図る。また、維持管理のため、樹木の適正な管理と老朽化したコースの修繕を実施する。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続	
理由	新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、今後利用者の増加が期待されるため。	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	500 周遊観光促進事業（旧：フットパス事業）					
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費				担当部課	経済部観光推進課
市長公約	90-1	93-3			係名	観光振興係
戦略プラン	I-2	2	2	体験型観光の推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	第3次つくば市観光基本計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし				SDGs	15陸の豊かさを守ろう

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	地域の観光資源のブラッシュアップ及びGWや紅葉期等に筑波山へ集中する観光客の分散化を図るため、既存の筑波山麓地域や各地域のマップ、地域の団体が作成したマップ等を活用し、周遊観光を促進する。
概要 (取組内容)	市内に点在する観光資源を線としてつなげる。 フットパスコースの企画・設定、道標を設置するとともに案内マップを作成し、市内外に広く周知する。 マップの電子化を検討し、地域への周遊を促し、地域経済の活性化を図る。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	374	187	5,667	3,256	3,700	
	決算額	(千円)	184	1,804	5,361	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	184	1,304	5,361	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	500	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,213	5,728	6,957	3,833	3,833	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.32	0.80	1.00	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	15.00	107.00	60.00	175.00	175.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	フットパスマップを作成し、市公式ホームページへの掲載及び市内各所に配架することでの情報発信。市内を周遊するスタンプラリーイベントの実施。
企画・立案、計画	スタンプラリーイベントにおいて、地元で活動する協議会と協働して企画。
実行	スタンプラリーイベントを実施するにあたり、地元商店に協力を仰いだ。
評価、検証	スタンプラリー参加者及び地元商店へのアンケート実施。

指標の推移

1	指標名	フットパスマップ増刷部数 (部)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0
	実績	3,000.0	8,000.0	8,000.0	32,000.0	0.0	0.0
	指標の概要	配布及び補充用にてフットパスマップを増刷した部数					

2	指標名	電子スタンプラリー参加者数 (人)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	500.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	967.0	521.0	0.0	0.0
	指標の概要	電子スタンプラリーに参加した人数					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	小貝川周辺での周遊観光を促すため、地元住民等と連携し、地元団体が作成したまちあるきマップを活用した上郷周辺まちなめぐり電子スタンプラリーを実施した。
成果	地元住民等と連携し、上郷周辺まちなめぐり電子スタンプラリーを実施した。521人が参加し、192人から抽選商品への応募をいただくことができた。 周遊観光を促すため、市内の観光スポットの写真及び動画を撮影し、コロナ後に向けた観光PR素材の収集をすることができた。
課題	<p>業務</p> <p>令和3年度と令和4年度に行った電子スタンプラリーの参加者の属性等から得られた傾向を踏まえ、恒常的に市内の周遊を促す事業を実施していく必要がある。 観光PR写真について、季節が秋冬に偏っているため、春夏の写真を撮影する必要がある。</p> <p>組織、予算等</p> <p>特になし</p>
改善目標	ターゲット・目的などを明確にした市内周遊コースを造成する。 春夏を中心に必要な写真を追加で撮影していく。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	505 サイエンスツアー事業					
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費				担当部課	経済部観光推進課
市長公約					係名	観光振興係
戦略プラン	I-2	2	2	体験型観光の推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	補助金（直接）
個別計画	第3次つくば市観光基本計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	つくばサイエンスツアー推進事業に係る協定				SDGs	

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	研究機関の集積する筑波研究学園都市の特性をいかし、研究機関等と連携し市内外からの誘客を図る。
概要 (取組内容)	茨城県や地元産業等と連携しサイエンスツアーバスを巡回させることで、回遊性の強化を図り学校団体を中心に一般団体や個人をつくばの研究機関等へ誘客し、地域産業の活性化を進める。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	
	決算額	(千円)	8,229	6,894	11,000	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	8,229	6,894	11,000	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,360	684	1,362	1,607	1,607	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.10	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	100.00	100.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	HP等での情報発信
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

指標名	サイエンスツアー利用者数 (人)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	15,800.0	15,800.0	15,800.0	15,800.0	15,800.0	15,800.0
実績	11,976.0	2,150.0	4,625.0	14,376.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策 I-2-②豊かな資源をいかした観光の振興) つくばサイエンスツアーオフィスを通じてサイエンスツアーに参加した人数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	サイエンスツアーオフィスや研究機関と連携し、夏休みの特別企画（謎解きイベント）を2年ぶりに実施した。また昨年度に続いて市中心部及び市周辺地域での工作実験教室等の出張特別イベントも実施し、誘客促進を図った。	
成果	感染症対策を徹底したうえで、サイエンスツアーバスの運行、夏休みの特別企画などを実施できた。また、引き続き、教育委員会の協力を得ながら、学校向けへのイベントPRの強化を行うことができた。茨城プレデスティネーションキャンペーンでは、エクスカーションコース内でサイエンスツアーバスや、JAXA等研究所の紹介を行い、県外の観光事業者へPRすることができた。	
課題	業務	サイエンスツアーオフィス、研究所、観光事業者等と連携し、より魅力的なサイエンスツアーの誘客促進、PR方法を検討していく必要がある。
	組織、予算等	特になし。
改善目標	観光事業者と連携して教育旅行等の売り込みを強化していく。令和5年度は、例年の事業に加えて、茨城デスティネーションキャンペーンを活用したPRを行っていく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続	
理由	-	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	040 筑波山観光用水湯水対策事業（旧：筑波山観光用水安定供給事業）					
予算科目	01-070103-11 観光施設整備に要する経費			担当部課	経済部観光推進課	
市長公約	131			係名	観光施設係	
戦略プラン	I-2	2	2	体験型観光の推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs		

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	筑波山頂の水量不足を解消し、観光用水の安定供給を図る。
概要 (取組内容)	筑波山観光用水である筑波山頂水道の水源の湧水量をモニタリングし、湯水状況を継続的に調査する。また、緊急対策として、老朽化し漏水が発生した管路の更新を検討していく。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	23,096	151,089	423	20,423	100,423	
	決算額	(千円)	18,054	130,815	344	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,909	19,299	344	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	15,145	111,516	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,090	6,834	1,703	3,405	6,810	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	0.25	0.50	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	118.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	関係者への湧水量の情報提供
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	湧水量の調査を実施し、渇水期に向けて関係者で会議を実施し、適宜情報共有を図った。				
成果	湧水量の調査を実施し、関係機関と連携することで、渇水期における施設への影響を最小限に留めた。				
課題	<table border="1"> <tr> <td>業務</td> <td>筑波山山頂にある施設は自然湧水を利用しているため、渇水や凍結等の施設トラブルに対する迅速な対応や経過観察を継続して行う必要がある。</td> </tr> <tr> <td>組織、予算等</td> <td></td> </tr> </table>	業務	筑波山山頂にある施設は自然湧水を利用しているため、渇水や凍結等の施設トラブルに対する迅速な対応や経過観察を継続して行う必要がある。	組織、予算等	
業務	筑波山山頂にある施設は自然湧水を利用しているため、渇水や凍結等の施設トラブルに対する迅速な対応や経過観察を継続して行う必要がある。				
組織、予算等					
改善目標	給水設備の老朽化がみられる女体山頂から男体山頂にかけて漏水箇所を調査し、改良工事に向けた設計業務を行う。また湧水量の状況把握を引き続き実施し、渇水時の対応を検討する。				

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	自然湧水を活用しており、湧水量が安定していないことから、引き続きモニタリングと限られた資源の有効活用の方法を検討する必要がある。

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	038 観光PRの実施						
予算科目	01-070103-14 観光振興に要する経費				担当部課	経済部観光推進課	
市長公約					係名	観光振興係	
戦略プラン	I-2	2	3	観光PRの実施		新規・継続	新規
						事業分類	自治事務（任意）
						事業体制	一部委託
個別計画	第3次つくば市観光基本計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし				SDGs		

事業の概要

対象	市民、観光客
目的	つくば市への観光誘客を図り、観光需要の拡大に寄与する。
概要 (取組内容)	つくばフェスティバル、まつりつくば、茨城県人会、賀詞交換会、筑波山梅まつり等のイベントに観光大使を派遣し、つくば市の観光PRを実施する。 新聞等のメディアにつくば市の観光情報を提供する。 守谷、菖蒲、酒々井等の高速道路のSAにつくば市の観光PRのチラシを設置する。 SNS (Twitter、Instagram) での情報発信を行う。 つくば市HPおよびつくスマアプリでの情報発信を行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	1,033	1,150	2,490	2,152	3,200	
	決算額	(千円)	189	440	1,553	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	189	440	1,553	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,360	6,842	6,810	8,225	8,225	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	1.00	1.00	1.10	1.10
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	3.00	0.00	300.00	300.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	観光大使派遣イベント回数 (日)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
	実績	12.0	0.0	3.0	1.0	0.0	0.0
	指標の概要	観光大使を派遣しつくば市の観光PRを実施したイベント日数 (令和2年度は新型コロナウイルスの影響で派遣なし)					

2	指標名	インバウンド向けウェブサイトアクセス数 (PV)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	6,500.0	6,500.0	6,500.0	6,500.0	10,000.0	10,000.0
	実績	6,314.0	3,596.0	3,954.0	20,303.0	0.0	0.0
	指標の概要	Web上の訪日観光メディアMATCHAページのアクセス数					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	つくば観光コンベンション協会が作成した観光大使を起用したPR動画を利用し、SNS等のデジタルメディアを活用した観光PR活動を行った。また、デジタル広告やサイネージ等に掲出可能なつくば市独自の観光PR動画を作成した。	
成果	SNSでの積極的な情報発信を行い、フォロワー数がTwitterは約790人増加し、Instagramは約1,000人増加させることができた。また、例年行っているサービスエリアへのチラシの設置に加え、つくば観光コンベンション協会が作成した観光大使を起用したPR動画を利用し、デジタル広告の掲出など市内民間施設のサイネージ等へのデジタル広告の掲出を新たに行うことができた。	
課題	業務	コロナ収束後を見据えた観光PR活動が課題となる。
	組織、予算等	特になし
改善目標	コロナ収束後を見据え、茨城デスティネーションキャンペーンなど大規模イベントとの連携による観光PRを行うほか、今年度作成した観光PR動画を各所に掲出することで、観光PR活動を積極的に展開する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-